

令和4年度フード・コミュニケーション・プロジェクト(FCP)



若手フォーラム 最終成果物

若手フォーラムについて

◇若手フォーラム 趣旨・目的

- 食品関係事業者の次代を担う若手社員が食の安全・消費者の信頼向上への取り組みを受け継いでいくことで人材育成や相互の関係づくりを持続的に支援する
- コミュニケーションのあり方、食をめぐる社会環境の変化や食の安全に対する動きや取組を学び、参加者が食の安全・信頼向上の観点から企業行動を考えることを目的に開催する

◇会得することが期待されるスキル

- FCP活動や取組について理解する
- グループワークに参加して意見を述べる
- グループワークをリードして円滑に取り仕切る
- 自社の会社・仕事を説明する
- さまざまな意見をとりまとめる
- 自社に学んだことを伝える、仕事に役立てる

⇒フォーラムに参加するにあたり、学びたいことや身に着けたいスキル、目標等を明確にして臨みましょう

FCP活動報告会について

■ 令和4年度FCP活動報告会

【趣旨】食品事業者の消費者への信頼向上の取組を持続的なものとするため、学識経験者や食品企業の方の講演を拝聴し、今年度の活動実績と来年度の活動予定をFCP会員の皆様へ報告する
→若手フォーラムで作成した成果物の発表は、今年度の活動報告として実施します

【日時】2023年2月15日（水曜日）13：00～17：30を予定

【場所】農林水産省 7階 講堂

【形式】対面及びWEBを併用するハイフレックス形式で実施

ハイフレックス形式：若手フォーラム参加者及び上長等の希望者、FCP会員

WEB形式：上記以外のFCP会員

※社会状況によってはすべてWEB形式に変更の可能性あり

【内容】

- 食の安全安心・信頼向上のための取組に係るご講演
 - ・東京大学大学院 食の安全研究センター 中嶋 康博様
 - ・政策研究大学院大学 神井 弘之様
- 令和4年度のFCP活動報告及び令和5年度のFCP活動計画（FCP事務局）
- **若手フォーラム発表**
- 本年度総括

若手フォーラム 最終成果物（チーム成果物）



1. タイトル・テーマの選定

- ① タイトル、テーマとアウトプットを考える
- ② 発表のパフォーマンスをイメージする
- ③ テーマを選定した理由を分かりやすくまとめる

第4回フォーラムにて話し合い決定
(フォーラム後に提出)

・フォーラムで学んだことから自由に設定
・全員が興味を持てるもの、アイデアを出せるもの、また、組織に具体的な提案が出来るものが望ましい

2. 成果物の作成

◇基本フォーマット（基本構成）に沿って下記を実施

- I) 現状把握…現状を調査しまとめる
- II) 分かったこと…フォーラムを通して分かったことをまとめる
- III) 行動計画・目標設定
 - …行動計画を出し合い優先順位をつける
 - 目標について話し合いまとめる
- IV) 行動の具体例・期待される効果
 - …具体的な行動についてを考えてまとめる
 - 期待される効果について話し合いまとめる
- V) まとめ…発表内容を要約し、まとめる

第5回までに事前課題として実施
(個人課題→チーム内共有)

第5回で作成
(発表出来るように仕上げる)

↓
終わらなければチーム毎にWEB
会議やメールベースでやりとりし、
活動報告会 1週間前までに完成
させる

◇仕上げ

基本フォーマットに追加 or フォーマットを軸に作成

最終成果物（チーム）・活動報告会での発表について

◆最終成果物について

【発表時間】 1チーム 12分（入退場・発表準備込み）

【形式】形式は問いません（プレゼン形式・紙芝居・動画等）

※報告会がWEB開催になる可能性がありますので、
それも考慮して形式を検討してください

【提出いただく資料について】

提出物：①基本フォーマット ※全チーム必須

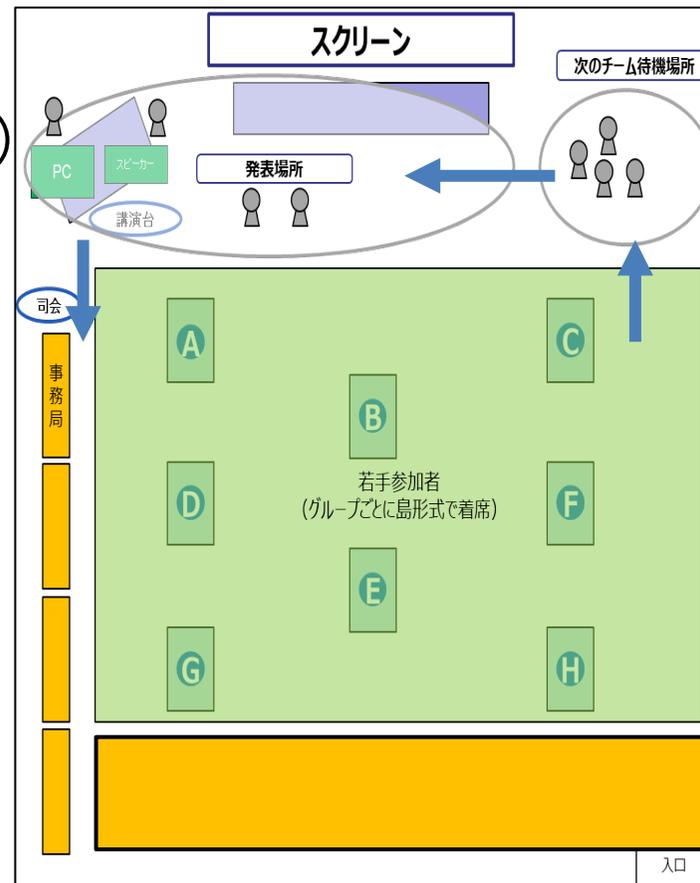
②チーム毎に作成した成果物（発表用の資料等）

提出期限：2023年2月8日（水曜日）17：00まで

※第5回で終わらなかった場合は、
チーム毎にWEB会議・メールベースで
期日までに完成させてください！

◆当日の発表

- ・会場のチームメンバーは全員ホールの前に出ます
- ・講演台にある発表用PCで資料を画面共有して発表開始
（会場ではスクリーンにPC画面が映ります。WEB参加の方の画面には資料のみ見えている状態です）
- ・発表者はマイク使用です。
WEB参加者は声のみの出演、マイクスピーカーでホールに届きます
- ・時間管理のベルを指標に発表



チーム成果物作成手順

①タイトル・テーマの選定 グループ発表のタイトル・テーマは自由に選定してください

● 本年度WSテーマ

1	食の信頼とリスクコミュニケーション
2	社会環境の変化
3	サーキュラーエコノミーの取組
4	ガバナンスとCSV経営

● キーワード

食の安全と信頼	サステナビリティ(持続可能性)	労働安全の確保
協働の着眼点	サーキュラーエコノミー(循環経済)	生命・人権の保護
ベーシック16	廃棄物の発生抑止 食選択	地域社会への貢献
安全と安心	気候変動対策	企業統治
ESG	健康・栄養課題	リスクコミュニケーション
SDGs	ワークライフバランスの確保	など

②形式の選定

※形式不問 基本フォームへの追加でも可

パワポ

関連資料

動画

プレゼン

演劇

紙芝居

ロールプレイング

③基本フォーマット①～⑧への記入

④仕上げ

②で決めた形式に合わせて、発表資料として仕上げる全員で楽しみながら完成させてください！！



若手フォーラム 最終成果物(まとめ基本フォーマット①)

第4回フォーラム時に作成

チーム	S	役割分担	リーダー：〇〇、書記：〇〇、メンバー：〇〇、〇〇、〇〇
タイトル	食肉の持続可能な調達の環境整備		
テーマ	動物福祉（アニマルウエルフェア）に関わる合意		
形式	プレゼン		

チーム内で必要だと思う役割分担をご記入ください
※リーダーは必須です

【テーマ選定の理由】 テーマを選定した理由をまとめる

- 食肉の海外ユーザーからは、食肉調達の取引条件として、国際標準に適合する動物福祉を要求をケースが増えており、一部で国内事情とは大きな隔たりが生じている
- 動物保護に関しては、過去から捕鯨や野生のイルカの取り扱いなど、欧米とは文化や慣習などの違いから、意識には大きな差があった
- 海外、国内を問わず、食肉の安定した調達を実現するために、動物福祉に関わる合意形成のための行動について提案することにした

できるだけ、全員で共有できるテーマを選んで、その理由を分かりやすくまとめてみましょう

若手フォーラム チーム成果物(まとめ基本フォーマット②)

第5回フォーラム事前課題 (予定)

タイトル 食肉の持続可能な調達の環境整備

テーマ 動物福祉 (アニマルウエルフェア) に関わる合意

【現状把握】 現状を調査してまとめる

- 欧州などでは、畜産の歴史が長く、家畜の飼育環境に対する倫理観も定着していた
- 食肉の海外ユーザーからは、食肉調達の取引条件として、国際標準に適合する動物福祉を要求をケースが増えている
- OIE(国際獣疫事務局) は、動物福祉について「動物が生活環境といかに適応しているか」を指標に、5つの自由をあげている
 - 飢えと渇きからの自由
 - 不快からの自由
 - 痛み・傷害・病気からの自由
 - 恐怖や抑圧から自由
 - 正常な行動を表現する自由
- 国内では兼業や小規模な畜産が中心であり、家畜の飼育環境への関心が低く、また生産性も低いことから、飼育方法について見直す機会が少なかった。また、飼育環境を変えるには、作業者の負担を増やす場合がある

仕事での経験や聞き取りした情報、
ネットで調べた情報などをまとめます

若手フォーラム チーム成果物(まとめ基本フォーマット③)

第5回フォーラム事前課題 (予定)

タイトル	食肉の持続可能な調達の環境整備
テーマ	動物福祉 (アニマルウエルフェア) に関わる合意

【わかったこと】 フォーラムを通して、学んだこと、わかったことをまとめる

- 食品業界は多くの第3者機関のサステナビリティプログラムに依存している
- 食品製造業、小売業が加盟するCGF (ザ・コンシューマーズ・フォーラム) グローバルの戦略的組織では環境・社会的サステナビリティへのコミットメントと森林破壊の要因の4つのコモディティとしてビーフのWGを設けている
- ESG (持続可能な開発目標 Environment、Social、Governance)では、2030年を目標に、17の指標の中で「つくる責任・つかう責任」を設定されており、動物福祉も関わってくる



12. つくる責任・つかう責任

フォーラムで学んだ、または関連する情報からわかったことをまとめます

畜産において生産性だけを追求するのではなく、事業者や消費者は持続的な生産のための飼育環境や自然環境への最適化にその責任を負う

若手フォーラム チーム成果物(まとめ基本フォーマット④)

タイトル	食肉の持続可能な調達の環境整備
テーマ	動物福祉（アニマルウエルフェア）に関わる合意

【行動計画】 行動計画を出し合い優先順位をつける

(1) 動物福祉に関する国際標準をまとめる（2022年まで）

- 乳牛・肉牛 牧場の飼育、と畜場の構造
- 豚 飼育環境、と畜場の構造
- ブロイラー 飼育環境、食鳥処理場の工程
- 採卵鶏 飼育環境、廃鶏の取扱い

効果や実現可能性などから優先順位をつけていきます

(2) 畜産関連施設の設備や取扱い、労働環境などをモニタリングする（2023年まで）
環境整備のキーとなる作業環境の視点から、国際標準とのギャップを調査する

(3) 動物福祉について食品事業者と消費者の視点から取り組める課題をまとめる（2024年まで）

若手フォーラム チーム成果物(まとめ基本フォーマット⑤)

タイトル	食肉の持続可能な調達の環境整備
テーマ	動物福祉（アニマルウエルフェア）に関わる合意

【目標設定】 目標について話し合い、まとめる

食肉の持続可能な調達のための動物福祉の指標をつくる

- ESGの指標の中で、消費者のサプライチェーン（農場から製造、ロジスティック、小売り/外食、消費者）における、動物福祉への理解を深める **ステイクホルダーとの合意を重視し目標を設定します**
- 国内の畜産関連施設の飼育環境と作業者の負担軽減のモデルを作成する
- 動物福祉に関わる経済的な負担について、サプライチェーンの中で価格への適正な転嫁を促す

若手フォーラム チーム成果物(まとめ基本フォーマット⑥)

タイトル	食肉の持続可能な調達の環境整備
テーマ	動物福祉（アニマルウエルフェア）に関わる合意

【行動の具体例】 行動について話し合い、具体例をつくる

- （情報共有）FCP食の安全・信頼に関する新たな知見の蓄積勉強会で、SDGsと動物福祉について、産官学の交流会を開催する
- （業界ガイドの作成）国内の畜産関連施設の飼育環境と作業者の負担軽減のモデルを作成する
- （原価計算の指標設定）動物福祉に関わる経済的な負担について、サプライチェーンの中で価格への適正な転嫁を促す

効果や実現可能性を考えながら具体的な行動を話し合いまとめます

若手フォーラム チーム成果物(まとめ基本フォーマット⑦)

タイトル	食肉の持続可能な調達の環境整備
テーマ	動物福祉（アニマルウエルフェア）に関わる合意

【期待される効果】 期待される効果について話し合いまとめる

- （輸出の促進）海外ユーザーへの食肉、食肉加工品の輸出にともなう第3者機関のサステナビリティプログラムの要求項目に適合する
- （労働安全の確保）畜産現場の動物福祉に関わる作業者の労務負担を軽減する
- （企業価値の向上）ESGの指標について取り組むことの中で、企業価値を高め、機関投資家からの投資を促す

具体的な行動から、期待される効果を
考えてまとめます

若手フォーラム チーム成果物(まとめ基本フォーマット⑧)

タイトル	食肉の持続可能な調達の環境整備
テーマ	動物福祉（アニマルウエルフェア）に関わる合意

【まとめ】 発表内容を要約し、まとめる

- 食品の持続可能な調達のための社会的な環境の変化と多様性への対応の中で、国内の動物福祉に関する理解とその標準化が必要になっている
- そのためには、食品関係者と消費者がその社会的背景や家畜の飼育環境、農場の実情などを相互に理解し、その一部に負担をかけるのではなく、社会全体で持続可能性に理解を深めていく
- 食肉の持続可能な調達のための動物福祉の指標をつくることを目標に、SDGsと動物福祉に関する産官学、消費者の情報共有、業界ガイドの作成、さらに、動物福祉に関わる価格への適正な転嫁を促す原価計算の指標設定にチャレンジする

**FCPの視点も含めて、
発表内容をまとめます**

(参考) 最終成果物に向けての準備

誰か話す?

日本は?

発表形式?

伝えたい事

やりたい事

発表形式

エシカル消費を伝えたい

エシカル体操考案(こども番組で踊る)

プレゼン 演劇 紙芝居

リスコミの教育強化

スマホゲーム「スペースクレーマー」開発

テーマ

第5回は作成～完成(難しいけど...)

「誰か?」「どうして?」を完成させる。

その為にテーマ決めは第4回に確実に!!

第4回～5回 の間に オススメ

できると範囲で、なしとなくでもいいので!!...

☆第5回目は、作成～完成を目指していただきます!

発表に向けては、資料の完成の他、当日の役割分担や、ページ毎の担当者等、決めることが結構あります。

スムーズな資料完成のために...

- ・フォーラム4回目に「伝えたいこと」、「やりたいこと」、「発表形式」を決める
- ・出来る範囲で、4回～5回の間材料集めをする(メールベースでもやり取りできるとなお良し!)
- ・WEB会議をやる場合は、事務局がお手伝いすることも可能です!
- ・イメージが湧かない方は、HPに過去のフォーラム成果物が掲載されていますのでご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/fcp/whats_fcp/study_2021.html

資料を作成する際には、「自分たちがこれから(将来)何をしたいのか」をぜひ考えてみてください。
「何をしたいか」については、実現可能性は問いませんので、こんなことが出来たら良いな! あったら良いな! という自由な発想を期待しております(*'▽')ゞ ☆